

# 令和2年度 授業改善推進プラン

教科 外国語活動・外国語 (3年～6年) 担当氏名 林 美穂

<b>学校経営方針(学力向上に向けて)</b>	<b>専科目標</b>
<p><b>わからないゼロを目指して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必達目標の実施と達成</li> <li>・ 主体的で対話的な学びで学習を深化</li> <li>・ プログラミング教育の推進</li> <li>・ 1 単位時間の絶対確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語を楽しんで学ぼう。</li> <li>○積極的に英語で話そう。</li> <li>○自分の名前を英語で書けるようにしよう。</li> </ul>

**研究テーマ**

自分の考えを広げ深める児童の育成

## 教科領域

**3年**  
授業改善に向けての目標

- 言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなど伝え合う力を養う。
- 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**

- ゲームなどを取り入れた活動を通して、音声の違いや表現に親しむことができるようにする。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。

**4年**  
授業改善に向けての目標

- 言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなど伝え合う力を養う。
- 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**

- ゲームなどを取り入れた活動を通して、音声の違いや表現に親しむことができるようにする。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。
- 自分の想いを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。

**5年**  
授業改善に向けての目標

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりできるようにする。
- 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**

- ゲームなどの活動を積極的に取り入れる。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。
- 自分の想いを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。

**6年**  
授業改善に向けての目標

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりできるようにする。
- 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**

- ゲームなどの活動を積極的に取り入れる。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。
- 自分の想いを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

教科 図工 担当氏名 伊藤 麻子

<b>学校経営方針(学力向上に向けて)</b> わからないゼロを目指して ・必達目標の実施と達成 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1 単位時間の絶対確保	<b>専科目標</b> ○すすんで造形的な活動や鑑賞に取り組む。 ○感性や想像力を働かせて、活動や作品を作り出す。 ○自分のイメージに合わせて表現方法を工夫する。
--	--

<b>研究テーマ</b> 自分の考えを広げ深める児童の育成
----------------------------------

## 教科領域

### 3年

#### 授業改善に向けての目標

○カッターや金づち等新しい道具の使い方を学ぶと共に様々な材料に触れ感じたことや考えたことを自分らしく表現する。

#### 主な手だて

○図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を何度も伝え、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。  
○色々な道具・材料に触れ、造形感覚の基礎・基本を身につけることができるよう年間計画を立てる。  
○作品完成後には、鑑賞の授業をもち、友だちの作品のよさに共感したり、伝え合ったりする時間をもつようにする。

### 4年

#### 授業改善に向けての目標

○のこぎり等の道具の正しい使い方を学ぶと共に様々な材料に触れ感じたことや考えたことを工夫して自分らしく表現する。

#### 主な手だて

○図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を何度も伝え、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。  
○色々な道具・材料に触れ、造形感覚の基礎・基本を身につけることができるよう年間計画を立てる。  
○作品完成後には、鑑賞の授業をもち、友だちの作品のよさに共感したり、伝え合ったりする時間をもつようにする。

### 5年

#### 授業改善に向けての目標

○これまでに学んできた道具や材料の経験を生かして、自分のイメージする表現になるよう創意工夫して表す。

#### 主な手だて

○道具の扱いや技法などの個別指導。製作過程を大切にした支援。  
○これまでの経験を発展させて活動できるような題材を工夫するとともに一人一人の思いにあった指導できるよう準備をしていく。  
○鑑賞の授業を多くもち、豊かな感性を磨いていけるよう取り組んでいく。

### 6年

#### 授業改善に向けての目標

○これまでに学んできた道具や材料の経験を生かし、自分の感性を大切にして創意工夫のある造形活動を行う。

#### 主な手だて

○道具の扱いや技法などの個別指導。製作過程を大切にした支援。  
○これまでの経験を発展させて活動できるような題材を工夫するとともに一人一人の思いにあった指導できるよう準備をしていく。  
○鑑賞の授業を多くもち、豊かな感性を磨いていけるような芸術作品との出会いの場を作っていく。適切なワークシートの活用等。

<b>学校経営方針(学力向上に向けて)</b>	<b>専科目標</b>
<b>わからないゼロを目指して</b> ・必達目標の実施と達成 ・主体的対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保	○音楽的な見方・考え方を身に付け、音楽表現のための技能を身に付ける。 ○音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 ○音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養う。

**研究テーマ**  
 自分の考えを広げ深める児童の育成

**教科領域**

<p><b>2年</b>  <b>授業改善に向けての目標</b>                  ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>主な手だて</b>                  ○表現                  ・発音や歌声に気を付けるために、範唱をよく聴かせる。また、正しい奏法を身に付け、音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を養う。                  ○鑑賞                  ・楽曲を形作っている要素および記号などに気付きながら、楽曲全体を味わって聴くようにする。</p>	<p><b>3年</b>  <b>授業改善に向けての目標</b>                  ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>主な手だて</b>                  ○表現                  ・反復練習の工夫等により、基本的な奏法や技能を身に付けるようにする。                  ・思うように演奏できない児童や苦手意識のある児童には、スモールステップを意識した指導や簡略化した課題を通じて自信を持って演奏できるようにする。                  ○鑑賞                  ・楽曲の良さを自ら見付け、楽曲全体を楽しみながら聴くことができるようにする。</p>	<p><b>4年</b>  <b>授業改善に向けての目標</b>                  ○音楽表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p><b>主な手だて</b>                  ○表現                  ・ワークシートの工夫により、思いや意図が音楽になる過程を感じ取れるようにする。                  ・様々な楽器を使い、それぞれの音色や重なる楽しさを感じ取れるようにする。                  ○鑑賞                  ・楽曲や演奏の良さを見付け、曲想の変化と音楽の構造との関わりについて気付いて聴くことができるようにする。</p>
<p><b>5年</b>  <b>授業改善に向けての目標</b>                  ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするための技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>主な手だて</b>                  ○表現                  ・曲想を生かした表現の仕方を工夫しながら、演奏することができるようにする。また友達と協力して音楽を作り上げる力を育てる。                  ・音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きに気を付けながら工夫して演奏することができるようにする。                  ○鑑賞                  ・楽曲の曲想の変化を理解し、それらの働きが生み出す良さやおもしろさに気付いて聴くことができるようにする。</p>	<p><b>6年</b>  <b>授業改善に向けての目標</b>                  ○主体的に音楽に関り、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものになろうとする態度を養う。</p> <p><b>主な手だて</b>                  ○表現                  ・学び合いの時間をつくり、友達と協働して課題解決をする力と共に音楽を作り上げる活動を通して心を育てる。                  ・自分の思いや意図を表現するための手だてを身に付けるようにする。                  ○鑑賞                  ・楽曲の曲想の変化と、音楽の構造との関わりについて理解しながら、聴くことができるようにする。</p>	

# 令和2年度 授業改善推進プラン

教科 算数 担当氏名 前田昌彦

学校経営方針(学力向上に向けて)	専科目標
<b>わからないゼロを目指して</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 必達目標の実施と達成</li><li>・ 主体的で対話的な学びで学習を深化</li><li>・ プログラミング教育の推進</li><li>・ 1 単位時間の絶対確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 問題解決型学習を基本として、自発的に学ぶ意欲を育てる</li><li>○ 自分の考えを表現する力を育てる</li><li>○ 友達の意見を生かして自分の考えを深めることができる指導を工夫する</li></ul>

研究テーマ

自分の考えを広げ深める児童の育成

## 教科領域

### 3年

授業改善に向けての目標

- 乗法、除法の習熟
- 小数・分数(基礎的内容)の確実な理解と習熟

主な手だて

- 一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、かけ算九九の定着を含め、3年生の学習内容が確実に身に付くようにする。
- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。
- 定期的に四則計算の習熟を図る。
- 適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。
- 東京ベーシック・ドリルを活用し、四則計算の習熟を図る。

### 4年

授業改善に向けての目標

- 乗法、除法の習熟
- 小数・分数の加法、減法の習熟
- 概数、面積、平面図形や立体図形についての理解

主な手だて

- 一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、4年生の学習内容が確実に身に付くようにする。
- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深め、思考力の向上を目指す。
- 定期的に四則計算の習熟を図る。
- 適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。
- 東京ベーシック・ドリルを活用し、四則計算の習熟を図る。

### 5年

授業改善に向けての目標

- 小数の乗法、除法の習熟
- 分数の加法、減法、乗法、除法の習熟
- 面積や体積の求積、比例、倍数と約数についての理解

主な手だて

- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深め、思考力の向上を目指す。
- 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。
- 習熟度に応じて、適切な応用・発展問題に取り組ませることで、思考力・表現力の育成を図る。
- 東京ベーシック・ドリルを活用し、四則計算の習熟を図る。

### 6年

授業改善に向けての目標

- 分数の乗法、除法の習熟
- 円の面積及び角柱などの体積の求積、拡大図と縮図、対称な図形についての理解

主な手だて

- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深め、思考力の向上を目指す。
- 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。
- 問題解決型学習を基本としながら、適切な応用・発展問題に取り組ませることで、思考力及び表現力の育成を図る。
- 東京ベーシック・ドリルを活用し、四則計算の習熟を図る。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

6年	1組	担任氏名	角井 慎
6年	2組	担任氏名	笹川 皓紀
6年	3組	担任氏名	高橋 七緒

学校経営方針(学力向上に向けて)
<p><b>わからないゼロを目指して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必達目標の実施と達成</li> <li>・ プログラミング教育の推進</li> <li>・ 1単位時間の絶対確保</li> </ul> <p>・ 主体的で対話的な学びで学習を深化</p>

学年目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら課題をたてて学習を深めよう</li> <li>○すんで心や体をきたえ、いろいろなことにチャレンジしよう</li> <li>○自分も友達も大切にし 共に成長しよう</li> </ul>

## 研究テーマ

### 自分の考えを広げ深める児童の育成

#### 教科領域

#### 国語

**授業改善に向けての目標**

- 叙述を基に心情や情景を読み取ったり、自分の経験を関係付けたりする力を身に付けさせる。
- 友達と自分の考えを比較し差異点や同一点などを整理しながら聞くことで、自分の考えを深められるようにする。

**主な手だて**

- 文章の構成を捉えたり、叙述に戻って考えの根拠となる言葉をさせたりする活動をくり返し行う。
- 友達と考えを交流させ、いろいろな考え方を踏まえながら、個々の考えを構築する場を多く設

#### 社会

**授業改善に向けての目標**

- 歴史や社会的事象に興味や疑問をもち、予想を立てて調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

**主な手だて**

- 教科書や資料集から読み取ったことを話し合う場面を設定する。
- 情報を整理・分析し、自分の考えを表現する学習活動を意図的に設定する。

#### 算数

**授業改善に向けての目標**

- 分数の乗法、除法の習熟
- 円の面積及び角柱などの体積の求積、拡大図と縮図、対称な図形についての理解

**主な手だて**

- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。
- 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。
- 問題解決型学習を基本としながら、適切な応用・発展問題に取り組ませることで、思考力及び表現力の育成を図る。

#### 理科

**授業改善に向けての目標**

- 自然の事象・現象について、見いだした問題について追及し、より妥当な考えをつくりだすことができる。

**主な手だて**

- 既習内容や事象提示をし、疑問や気付きをもたせて問題を見いだせるよう具体物や資料を効果的に提示する。
- より妥当な考えをつくりだせるよう、実験結果から分かったことや考えたことを話し合う活動を意図的に取り入れる。

#### 体育

**授業改善に向けての目標**

- 各種の運動の特性を味わい、基本的な技能を身に付ける。

**主な手だて**

- 運動のねらいが明らかになるような学習過程の工夫を行う。
- 友達とのかかわりの中で技能の追究ができるよう、場の工夫と学習形態の工夫をしていく。

#### 学活

**授業改善に向けての目標**

- よりよい学級、学校をめざし、話し合いで解決する活動を通し、望ましい人間関係や社会参画の態度を身に付ける。

**主な手だて**

- 学級会を充実させ、自分たちで問題を見つけたり話し合ったりして解決する。
- 係、当番活動の充実を図り、働くことの意義を考える場を設定する。
- 委員会、クラブ、たてわり班活動など、特別活動面においても6年生としての意識をもたせ、計画的な実施を行えるよう、適宜声かけをする。

#### 総合

**授業改善に向けての目標**

- 児童が思いや願いをもち、主体的に学習課題を解決していく力を身に付ける。

**主な手だて**

- 地域教材等の開発をする。
- 児童の思考の流れがスパイラル状になり、課題が高まっていくような意図的な学習計画をたてる。
- 思考ツールを効果的に活用する。

#### 特別の教科 道徳

**授業改善に向けての目標**

- 物事を一面的に捉えるのではなく、子ども自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解できる。
- 道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができる。

**主な手だて**

- 自己を見つめる時間を十分にとり、多様な考え方や感じ方が引き出せるように発問を工夫する。
- 教材や学習形態を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料 道徳ノートの活用 協力的指導 人材活用など)

#### 外国語

**授業改善に向けての目標**

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりできるようにする。
- 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**

- ゲームなどの活動を積極的に取り入れる。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。

#### 家庭科

**授業改善に向けての目標**

- 自分の生活を見つめ、家庭生活を工夫していこうとする。

**主な手だて**

- 学習したことを生活に生かす過程を重視する。
- 実物投影機などの視聴覚機器を効果的に使い、わかりやすい指導を目指す。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

5年 1組	担任氏名	小林 信輔
5年 2組	担任氏名	柳 志穂
5年 3組	担任氏名	仲 佑允

学校経営方針(学力向上に向けて)	
わからないゼロを目指して ・ 必達目標の実施と達成 ・ プログラミング教育の推進 ・ 1 単位時間の絶対確保	・ 主体的で対話的な学びで学習を深化

学年目標
○課題をもって学習しよう ○すすんで心や体をきたえよう ○自分も友達も大切にして助け合おう

## 研究テーマ 自分の考えを広げ深める児童の育成

### 教科領域

#### 国語

##### 授業改善に向けての目標

- 叙述を基に心情や情景を読み取ったり、自分の経験を関係付けたりする力を身に付けさせる。
- 言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深めさせる。
- 友達と意見を交流し、考えを比較することで学びを深めさせる。

##### 主な手だて

- 文章の構成を捉えた上で、叙述に戻り、考えの根拠となる言葉を明確にさせる活動をくり返す。
- 友達と考えを交流させ、いろいろな考え方を踏まえながら個々の考えを構築する場を多くもたせる。

#### 理科

##### 授業改善に向けての目標

- 学習課題に対する予想をさせ、筋道を立てて考えさせる。
- 何のための実験なのかを理解させる。
- 器具の適切な使い方を理解させる。

##### 主な手だて

- 根拠をともなった予想を個々に書かせる。
- 仮説を検証するためにはどのような実験をすればよいか、また実験の条件制御についてノートに書く活動を行う。
- 考察の型を決め、実験を振り返り、まとめることができるようにする。

#### 総合

##### 授業改善に向けての目標

- 思いや願いをもつとともにその実現に向けて、教科などで身に付けた知識や技能を相互に関連付け、主体的に学習課題を解決していく力を身に付けさせる。

##### 主な手だて

- 事象に対して疑問や課題がもてるように支援する。
- 必要な知識、資料の読み取り方について、各教科で身につけた力と関連させて学習を進めていく。
- 情報発信力・表現力を養う場を設定する。

#### 家庭科

##### 授業改善に向けての目標

- 経験や既習事項を活かしながら、家庭生活を工夫しようとする。

##### 主な手だて

- 調理の基礎を身に付けられるよう、実演や実物投影機などを効果的に使いわかりやすい指導を行う。
- 裁縫の基礎を楽しみながら学べるよう、いくつかの制作をいれながら学習を進められるようにする。

#### 社会

##### 授業改善に向けての目標

- 国土や産業の様子、産業と国民生活との関連について関心をもてるようにする。
- 資料を正確に読み取る力を身に付けさせる。
- 資料を活用して、社会的事象について考えたり、調べたりして考えを深める。

##### 主な手だて

- グラフなどの基礎的な資料を正確に読み取らせ、気付いたことや疑問、自分の考えを表現する学習を設定する。

#### 学活

##### 授業改善に向けての目標

- よりよい学級をめざし、話し合い活動や主体的な活動を通して、互いによりよい人間関係を築けるようにする。

##### 主な手だて

- 自分たちで考えて行動する力を付けられるよう、係活動や当番活動の充実を図り、男女ともに認め合える雰囲気をつくっていく。

#### 特別の教科 道徳

##### 授業改善に向けての目標

- 物事を一面的に捉えるのではなく、子ども自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解できるようにする。
- 道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができるようにする。

##### 主な手だて

- 自己を見つめる時間を十分にとり、多様な考え方や感じ方が引き出せるように発問を工夫する。
- その他指導法を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料 ワークシートの活用 協力的指導 人材活用など)

#### 算数

##### 授業改善に向けての目標

- 小数の乗法、除法の習熟
- 分数の加法、減法、乗法、除法の習熟
- 面積や体積の求積、比例、倍数と約数についての理解

##### 主な手だて

- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。
- 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。
- 習熟度に応じて、適切な応用・発展問題に取り組みさせることで、思考力・表現力の育成を図る。

#### 体育

##### 授業改善に向けての目標

- 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止などについて理解させる。
- 各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けさせる。

##### 主な手だて

- 課題やめあてを明確にし、友達と教え合ったり、活動を振り返ったりする場を意図的に設定する。
- 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を届けられるような学習カードの工夫を行う。

#### 外国語

##### 授業改善に向けての目標

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりできるようにする。
- 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

##### 主な手だて

- ゲームなどの活動を積極的に取り入れる。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。
- 自分の想いを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

4年	1組	担任氏名	赤坂 大輔
4年	2組	担任氏名	小林 志織
4年	3組	担任氏名	長瀬 将裕

学校経営方針(学力向上に向けて)	
<b>わからないゼロを目指して</b> ・必達目標の実施と達成 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保	・主体的で対話的な学びで学習を深化

学年目標
○めあてをもって学習しよう ○たくさんの友達と仲良く、元気に遊ぼう ○友達と力を合わせよう

研究テーマ
自分の考えを広げ深める児童の育成

## 教科領域

**国語**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○言葉を正しく使い、文章を書く力を身に付ける。  
 ○読書の質を向上させる。

**主な手だて**  
 ○毎日漢字練習を行い、漢字テストを実施する。  
 ○書く活動を意図的に取り入れる。  
 ○学校図書館や公共図書館を有効的に活用し、目的に応じた本が主体的に読めるようにする。  
 ○学校で読書する時間を定期的に設け、子どもが読書を習慣づけて行えるようにする。

**社会**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○すすんで社会事象に関わり、自分なりの考えをもてるようにする。  
 ○子ども同士、先哲の教え、教職員、地域の方々など様々な人と対話し、自分の考えを広げる。  
 ○調べ方、まとめ方など社会科の学び方を身に付ける。

**主な手だて**  
 ○地域素材を生かし、調べる方法や調べる視点を明確にして、学習問題に即して、観察や調査を行えるようにする。  
 ○資料を読み取り、資料をもとに自分なりに考え、表現できるようにする。  
 ○多様な考えに触れさせ、見解を広げさせる。

**算数**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○乗法、除法の技能を身に付ける。  
 ○小数・分数の加法、減法の技能を身に付ける。  
 ○概数、面積、平面図形や立体図形についての理解を深める。

**主な手だて**  
 ○一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、4年生の学習内容が確実に身に付くようにする。  
 ○デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。  
 ○定期的に四則計算の習熟を図る。  
 ○適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。

**理科**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○実験を行う技能や正確に観察する力を身に付ける。  
 ○根拠をもって結果を予想したり、結果から考察したりする力を身に付ける。

**主な手だて**  
 ○観点を明確化し、変化を具体的に見取るように指導する。  
 ○根拠をもたせるために、予想を立てる際に既習事項を振り返らせる。

**体育**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○友達と関わり合い、認め合いながら、めあてをもって運動に取り組む態度を養う。  
 ○基本となる動きを身に付けさせる。  
 ○自分の体を支える力や握力を向上させる。

**主な手だて**  
 ○場の設定や活動内容を工夫し、児童が関わり合う機会を積極的に設ける。  
 ○学習カードを活用し、児童が段階的に、課題をもって取り組めるようにする。

**総合**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○学習課題の中から、自ら課題設定ができる力を身に付ける。  
 ○課題に合わせて調べる力を身に付ける。  
 ○適切な表現の仕方を身に付ける。

**主な手だて**  
 ○地域の教材や人材を活用し、効果的に交流活動・体験学習を行う。  
 ○インタビュー・本・インターネットなど様々な調べ方を体験させる。

**特別の教科 道徳**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○主体的な学びを促し、授業での学びを他教科や生活にいかせるようにする。

**主な手だて**  
 ○自分だったらどうするか、何ができるかを考えさせる問いを含む教材や、道徳的問題の解決を考える場面を設定する。  
 ○教材や学習形態を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料 協力の指導 人材活用など)

**学活**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○積極的に話し合い、自分の意見を発言できるようにする。  
 ○役割分担を通し、他者を尊重する態度を養い、よりよい話し合いの仕方を身に付けさせる。

**主な手だて**  
 ○学級会ノートを使用し、一人一人が自分の意見を明確にもつてから話し合いに臨むようにする。  
 ○事前に司会グループで話し合いの流れについて計画を立ててから学級会を行うようにする。  
 ○学級会に積極的に取り組めるよう、学習用具の工夫を図る。

**外国語活動**  
**授業改善に向けての目標**  
 ○言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。  
 ○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなど伝え合う力を養う。  
 ○言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**  
 ○ゲームなどを取り入れた活動を通して、音声の違いや表現に親しむことができるようにする。  
 ○デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。  
 ○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

3年 1組 担任	氏名	横野 桂子
3年 2組 担任	氏名	大谷 和也
3年 3組 担任	氏名	百瀬由紀子

学校経営方針(学方向上に向けて)
わからないゼロを目指して ・必達目標の実施と達成 ・主体的で対話的な学びで学習を深化 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保

学年目標
○すすんで学習しよう ○たくさんの友達と遊ぼう ○友達の気持ちを考えよう

研究テーマ
自分の考えを広げ深める児童の育成

## 教科領域

**国語**  
授業改善に向けての目標

- 言語事項を確実に定着させる。
- 文章の理解を通して、自分の考えをもたせ、表現させる。

**主な手だて**

- 漢字テストを定期的の実施し繰り返すことで理解の定着を図る。
- 音読を宿題として出し、毎日文章を声に出して読む習慣を付ける。
- 学校図書館、地域の図書館を活用し、テーマをもたせた読書活動を充実させる。
- 朝学習の言葉の時間を活用し、言語事項の指導を充実させる。
- 考えの交流の場を意図的に設定する。

**社会**  
授業改善に向けての目標

- 見学や調査の仕方の基本を身に付けさせる。
- 地図や資料から読み取ったり、調べたことや考えたことを表現したりする力を身に付けさせる。

**主な手だて**

- 見学や調査、取材活動に取り組ませる前に、調べる視点や、聴き方の基本事項を十分に理解させる。
- 地図や資料を段階的に活用し、読み取り方や記入の仕方を理解させる。
- 調べたことを考えたこと等を説明したり、まとめたりする場面を意図的に設定する。

**算数**  
授業改善に向けての目標

- 乗法、除法の習熟
- 小数・分数(基礎的内容)の確実な理解

**主な手だて**

- 一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、かけ算九九の定着を含め、3年生の学習内容が確実に身に付くようにする。
- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。
- 百ます計算などを取り入れ、継続して四則計算の習熟を図る。
- 適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。
- ノートの書き方を揃える。

**理科**  
授業改善に向けての目標

- 自然事象について主体的に考え考察する態度の育成

**主な手だて**

- 予想から考察まで、児童一人一人が興味をもって取り組み、全員が自分の意見をもつことができるようにする。
- 学習課題を児童の日常生活に結びつける。
- ロイロノートなどのICT機器を活用し、理解を確かにする。
- 授業の流れを明確にするノート指導を繰り返す。

**体育**  
授業改善に向けての目標

- 自分の課題をもって積極的に運動に取り組む態度を養う。
- 基本となる動きを身に付けさせる。
- 自分の身体や器具・用具の使い方を知り、安全に運動に取り組もうとする態度を養う。

**主な手だて**

- 個人の課題解決ができるように場の設定や活動内容を工夫する。
- 学習カードを活用し、児童が段階的に、課題をもって取り組めるようにする。

**総合**  
授業改善に向けての目標

- 課題に興味をもち意欲的に調べる力を身に付けさせる。
- 資料を集めたり取材したりして、必要な情報を収集することができるようにする。
- 学習した結果や達成した事柄をまとめて表現することができるようにする。

**主な手だて**

- 子どもの意欲や願い、思考の過程を大切にしながら、単元計画・授業展開を行う。
- 課題解決に必要な情報収集ができるよう、図書資料の貸し出しを利用したり、ゲストティーチャーを招いたりするなど、学習環境を整える。
- プログラミング教育として、ロイロノートの使い方を指導することで、各教科で児童が活用できるようにする。

**特別の教科 道徳**  
授業改善に向けての目標

- 自らの生き方を主体的に考え、自ら気づき、考えることができるようにする。

**主な手だて**

- 身近に感じることができる資料の選択や資料の提示の仕方を工夫する。
- 考えること、話し合うこと、振り返ることの場を意図的に設定する。

**学活**  
授業改善に向けての目標

- 積極的に話し合い、自分の意見を発言できるようにする。
- 役割分担を通し、他者を尊重する態度を養い、よりよい話し合いの仕方を身に付けさせる。

**主な手だて**

- 学級会ノートを使用し、一人一人が自分の意見を明確にもって話し合いに臨むようにする。
- 事前に司会グループで話し合いの流れについて計画を立ててから学級会を行うようにする。
- 学級会に積極的に取り組めるよう、学習用具の工夫を図る。

**外国語活動**  
授業改善に向けての目標

- 言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなど伝え合う力を養う。
- 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

**主な手だて**

- ゲームなどを取り入れた活動を通して、音声の違いや表現に親しむことができるようにする。
- デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。
- デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

2年	1組	担任氏名	清水 章代
2年	2組	担任氏名	石戸 佳帆
2年	3組	担任氏名	武山 真治
2年	4組	担任氏名	嵩原 佐知子

学校経営方針(学力向上に向けて)	
わからないゼロを目指して ・ 必達目標の実施と達成 ・ プログラミング教育の推進 ・ 1単位時間の絶対確保	・ 主体的で対話的な学びで学習を深化

学年目標
○楽しく学習しよう ○仲良く遊ぼう ○みんなで助け合おう

研究テーマ
自分の考えを広げ深める児童の育成

## 教科領域

### 国語

#### 授業改善に向けての目標

○先生や友だちの話をしっかり聞く態度を身に付け、自分の思ったことや考えたことを相手に伝えることができるようにする。  
 ○自分の考えを、自信をもって発表できるようにする。

#### 主な手だて

○話を聞くときの約束を定着させ、聞いたことに対して自分の考えをもつために何をどのように聞けばよいか具体的に知らせるようにする。  
 ○何をどのように話したらよいか基本的な話し方を指導し、わずかな発言でも評価して発言することに前向きな姿勢を育てる。

### 算数

#### 授業改善に向けての目標

○自らすすんで問題解決できるようにする。  
 ○計算や測定等を着実にできるようにする。

#### 主な手だて

○具体物を用いたり、探求的な活動したりするなど、場面毎に有効な手立てを行っていく。  
 ○自分の考えを持ち、表現したり確かめたりする時間を確保する。  
 ○東京ベーシックドリルを効果的に取り入れ、四則演算の基礎基本を養う。

### 生活

#### 授業改善に向けての目標

○日常生活の中で人や自然と触れ合い、体験からの気づきをこれからの生活に活かすことができるようにする。

#### 主な手だて

○地域の人・もの・ことを生かした単元計画を作成し、身近な人々との関わりを深めていく。  
 ○学校探検や町探検、季節に合った学習を通して、様々なものに触れ合う機会を多く設ける。  
 ○体験活動の時間を十分とり、子どもたちが課題に対して主体的に感じ、考え、気付くようにする。

### 音楽

#### 授業改善に向けての目標

○さまざまな音楽活動を通して、みんなで演奏することの楽しさを感じられるようにする。

#### 主な手だて

##### 表現

○斉唱の曲を丁寧に歌い、友達と声を合わせることを楽しむようにする。また鍵盤ハーモニカだけでなく打楽器など様々な楽器も使用し、友達と合わせて演奏することの楽しさを感じられる活動を取り入れるようにする。

##### 鑑賞

○楽曲が持っている特徴の楽しさに気づき、楽曲全体を味わって聴くようにする。

### 図工

#### 授業改善に向けての目標

○集中して作品づくりができる環境を整える。  
 ○自分の発想を生かした作品づくりができるようにする。  
 ○材料の特性を生かしたり、色の塗り方を工夫したりして作品作りができるようにする。

#### 主な手だて

○具体物の提示や話し合いの中から、自分のイメージを膨らませるようにする。  
 ○材料の組み合わせや色の塗り方の工夫の指導をする。  
 ○自分の作品のどんなところが気に入り、どんな工夫をしたのかを説明したり書いたりして友達に知らせるようにする。

### 体育

#### 授業改善に向けての目標

○多様な動きができるようになるために、様々な運動遊びから体を楽しんで動かす経験をさせるようにする。  
 ○順番やきまりを守って運動する態度を育成できるようにする。

#### 主な手だて

○学習カードを活用して、自分のめあてをはっきりさせて運動に取り組みせるようにするとともに振り返りを行い次の時間に生かす。  
 ○主体的に考えたり、運動の楽しさを友達と共有したりして運動遊びができるよう指導計画的に指導する。

### 特別の教科 道徳

#### 授業改善に向けての目標

○人との関わり合いに重点を置き、集団の中の一人ということ意識して生活することができるようにする。

#### 主な手だて

○児童の実態に応じて資料を選択し、提示の仕方や板書の仕方を工夫する。  
 ○自分たちの身近な生活と照らし合わせながら考えさせることを通して、思考を深め実践的な態度を育成する。

### 学活

#### 授業改善に向けての目標

○自分の係や当番活動に責任をもって活動できるようにする。  
 ○みんなで話し合うためのルールやみんなで決めて実践する楽しさを学ぶ。

#### 主な手だて

○係や当番の活動を定期的に振り返る機会を設ける。  
 ○話し合い活動では、話し合いの流れを示し司会グループを子どもたちに経験させる。

# 令和2年度 授業改善推進プラン

1年	1組	担任氏名	喜多	温季奈
1年	2組	担任氏名	飯守	菜奈
1年	3組	担任氏名	松永	美加
1年	4組	担任氏名	鈴木	勇真

学校経営方針(学力向上に向けて)	
わからないゼロを目指して ・必達目標の実施と達成 ・プログラミング教育の推進 ・1単位時間の絶対確保	・主体的で対話的な学びで学習を深化

学年目標	
○たのしく まなぼう	
○げんきよく あそぼう	
○みんなと なかよくしよう	

研究テーマ	
自分の考えを広げ深める児童の育成	

## 教科領域

### 国語

#### 授業改善に向けての目標

- 話の聞き方を身に付ける。
- 自分の考えをもち、自信をもって話すことができるようにする。
- 自己や他者と対話することを通して、自分の考えを広げられるようにする。

#### 主な手だて

- 話の聞き方について、繰り返し指導する。
- 音読の宿題を出し、声を出すことの習慣を付けさせる。
- 発表の場や形態を工夫する。個に応じた支援をし、発表に自信がもてるようにする。
- 互いの考えを伝えあったりグループで考えたりする活動の時間を確保する。

### 算数

#### 授業改善に向けての目標

- 計算・測定問題を確実に解けるようにする。
- 自らすすんで問題解決できるようにする。

#### 主な手だて

- 具体物を用いたり、図を描いたりして、自ら問題解決ができるように指導する。
- 自力解決の時間、友達の考えと比較する時間を設け、考えが深められるようにする。
- 繰り返し練習する時間を確保する。

### 生活

#### 授業改善に向けての目標

- 直接体験や表現活動を重視し、自分との関わりに気付かせ、よりよい生活について考えさせる。
- 繰り返しの体験や表現・交流を通して気付きの質を高めていこうとする姿勢を育てる。

#### 主な手だて

- 体験活動の時間を十分にとり、子どもたちが自ら感じ、考え、気付くようにする。
- 身近な人々との関わりを深める。また、季節に合わせた学習を通して、様々な自然と触れ合う。
- 繰り返し体験する活動を取り入れる。

### 音楽

#### 授業改善に向けての目標

- 様々な音楽活動を通して、表現や鑑賞を楽しめるようにする。

#### 主な手だて

- 表現の基本的な技能を身に付けさせる。
- 様々な楽曲に触れることを通して、音楽表現の多様さを感じ取らせる。
- 身体を使って音を鳴らしたり、リズムを刻んだりする活動を取り入れ、拍の流れを感じ取らせる。

### 図工

#### 授業改善に向けての目標

- 自分の発想を生かした作品作りができるようにする。
- 作品の特性を捉え、色の塗り方などを工夫して作品作りに取り組むようにする。

#### 主な手だて

- 具体物の提示や話し合いの中から自分のイメージを膨らませるようにする。
- 材料の組み合わせ方や色の塗り方を指導し、友達と作品を交流し合えるようにする。

### 体育

#### 授業改善に向けての目標

- 様々な運動につながる感覚を身に付けさせる。

#### 主な手だて

- 運動遊びを楽しめるよう、用具やルールを工夫する。
- 学習のねらいを明確にし、友達の良い動きを見付けたりまねしたりできるように言葉掛けをする。
- 学習カードを活用し、自己の動きを振り返ったり、友達の良い動きを見付けたりできるようにする。

### 特別の教科 道徳

#### 授業改善に向けての目標

- 生きることを実感し、生命を大切にできる。
- 身近にいる人に温かい心で接し、親切にできるようにする。
- みんなの役に立つ喜びを知り、よいと思うことをすすんで行えるようにする。(学級活動と関連)

#### 主な手だて

- 資料の提示の仕方や板書を工夫し、具体的な生活場面に即して、子どもたちの思考を深めるようにする。
- ワークシートを活用し、自己を振り返りながら自分の考えを深めたり、友達と交流したりできるようにする。

### 学活

#### 授業改善に向けての目標

- 話し合い活動のきまりや態度を身に付けるようにする。
- 協力して班や学級の係・当番活動ができるようにする。
- みんなの役に立つ喜びを知り、よいと思うことをすすんで行えるようにする。(道徳科と関連)

#### 主な手だて

- 計画的に学級の話し合いの場を設定する。
- 活動内容を明確にし、掲示物を工夫する。
- 自分の考えを伝えることや友達の意見を聞くことの大切さに気付けるようにする。